

お 知 ら せ

**東京大学理学部天文学教育研究センター木曾観測所の
特別公開について**

日 時: 1990年8月4日(土), 5日(日)

(両日とも午後1時半から4時迄)

場 所: 〒397-01 長野県木曾郡三岳村樽沢

電話 0264-52-3360

展示内容: シュミット望遠鏡のデモンストレーション他

交 通: 中央西線 木曾福島駅あるいは上松駅より車で約25分(12km)。駐車場有り。観測所から6kmのところまではバスが通っていますが(1日数本)他には交通の便がありません。また、食事等のための売店はありません。

日本証券奨学財団平成2年度研究調査助成募集

上記について、学会宛に募集要項がとどいています。この助成金は、学術文化の研究調査に従事している者に対し、その研究調査を奨励し、学術の振興をはかり、もって社会の発展と福祉に寄与することを目的としている。対象者は、大学において学術文化の研究調査に従事している個人又はグループとし、その研究者の年齢は55歳以下とする。(特に若く有為な研究者の応募を期待している)。ただし大学間にまたがるグループでもよく、代表者は55歳以下とかぎらない。なお研究調査分野の範囲で、当学会に関係ある理学及び工学については、新素材及び環境改善に関する萌芽的研究を重視する。

助成金の総額は5,000万円とし、多額の経費を必要とする特別研究調査(1件につき500万円以内)、一般研究調査(1件につき100万円程度)合わせて二十数件を予定している。

申請期間は平成2年6月1日から8月20日までとなっていますが天文学会での締切は8月10日とします。希望者は、本学会宛にご照会下さい。

講習会「現代の宇宙像

——宇宙の誕生から超新星爆発まで——

主 催: 日本物理学会

期 日: 1990年7月23日(月)~25日(水)

会 場: 野口英世記念会館ホール

東京都新宿区大京町26 ☎03-357-0742

定 員: 378名(定員になりしだい締切ります)

聴 講 料: 一般18,000円, 会員13,000円, 学生4,000円(講習会テキスト1部, 消費税を含みます) 本会賛助会員の団体に所属する参加者, および協賛学協会の会員は, すべて本会会員と同じ聴講料とします。

申込方法: 申込用紙, またはB5判の用紙に所要事項, 氏名, 連絡先(聴講券送付先, ☎), 勤務先(学生は学校名, 学科, 学年, ☎), 所属学協会, 聴講料は一般, 会員の区別を明記の上, 代金(現金, 郵便為替)を添えてお申込み下さい。聴講料を添付しない申込みは無効です。

申 込 先: (社)日本物理学会 講習会係
〒105 東京都港区芝公園三丁目5-8
機械振興会館211号室
☎03-434-2671(代表)

聴 講 券: 聴講申込者には聴講券をお送りしますので, 受講の際ご持参下さい。

問合せ先: 申込先と同じ

シベリア日食おける天文少年の集い

近年, 天文学や天体観望への一般人の関心が世界的に大きくなってきている。そして, 同じような関心を持つ人が国際的な集いを持つようになってきた。今年7月のシベリア日食の折にモスクワ大学天文学研究所の Nikolai Boshkarev さんを中心として天文少年の集いを開催するという知らせが国際天文学連合を通じて日本学術会議あてにあった。関心のある方はファクス番号(095)9390126に連絡してほしい。同じようなアマチュア天文家の集りが1991年7月のメキシコ日食の折にも計画されており, メキシコ側から正式の通知がくれば掲載する予定である。このような活動がアマチュア天文学の国際的な交流を深める上で大いに役立つことが期待される。

(磯部秀三)

第23回日本アマチュア天文研究発表大会のご案内

標記大会が金沢市で開催されます。

なお今回は, 木辺賞の発表も合わせて行なわれます。

記

1. 日 時: 1990年10月14日(日) 9:40~17:00

2. 会 場: 石川県社会教育センター

〒920 石川県金沢市本多町3-2-15

TEL 0762-31-3291(代)

問い合わせ先: 〒920

石川県金沢市元菊町24-5 コーポ元菊203
室石 英明 方

第23回日本アマチュア天文研究発表大会
金沢大会事務局

TEL 0762-24-6491

木辺奨励賞募集のお知らせ

①<対象>日本アマチュア天文研究発表大会運営委員会では, 天体観測・天文学研究または普及の分野で優, 秀

かつ特筆すべき業績を上げたアマチュアの団体または個人の方に木辺奨励賞を差し上げることにしました。

②<募集>この賞を受けようとする団体または個人は、下記の事務局あて、今年8月末までに、木辺奨励賞応募用紙で提出していただきます。応募用紙は同事務局に用意してありますので、7月10日までに、葉書に応募者(団体)の住所氏名と応募テーマ(例:“××流星群継続観測”,“変光星◎◎の測光”,“18世紀の天文学者△△の生涯の研究”,“○○グループによる市民観測会の歩み”)を明記して、ご請求願います。

③<授与>この賞は、日本アマチュア天文研究発表大会元運営委員長の木辺成磨氏から寄付された総額50万円を、研究(報告)奨励助成金として、応募者または応募団体の中から5件程度に対し、10月14日のアマ天金沢大会(1990年第23回アマチュア天文研究発表大会)の席上で、授与するものです。

④<選考>アマ天大会運営委員若干名で構成される選考委員会が、今回の金沢大会に先立って決定し、該当団体・個人あてに通知します。

☆さまざまな分野で活躍しているアマチュアの方々からの応募をお待ちしています。

問い合わせ先: 〒170 東京都豊島区北大塚 2-33-19

木村精二方

日本アマチュア天文研究発表大会運営委員会事務局

「天文・天体物理若手夏の学校」集録のお知らせ

第19回天文・天体物理若手夏の学校の集録ができましたので、内容の概要、および、入手先についてお知らせします。

第19回天文・天体物理若手夏の学校は、1989年7月18日~22日に宮城県気仙沼大島国民休暇村において、宇宙線夏の学校と合同で開催されました。今回の事務局は、東北大学理学部天文学教室が担当しました。参加者数は、天文・天体物理から121人、宇宙線から32人でした。全体企画、各分科会、宇宙線との合同分科会などの内容が、例年通り盛況のうちに滞りなく行われました。プログラムの概要は、以下の通りです。

○全体企画

テーマ: 非線形・非平衡物理と天文学

20日(午後)

非平衡統計物理学

北原 和夫氏

非線形・非平衡物理の例としての球状星団の力学的進化

稲垣 省五氏

○合同分科会

19日(午後) 超新星 1987A……その後

○分科会

19日(午前) 星形成、磁場、天文学と社会(その1)

(午後) 観測機器

20日(午前) コンパクト・オブジェクト、自己重力系、天文学と社会(その2)

21日(午前) 恒星・太陽、宇宙論と相対論、天文学と社会(その3)

○ポスター・セッション

上記夏の学校の詳細は、先頃作成した集録に掲載されております。集録をご希望の方は、事務局(東北大・理・天文、石田)までご連絡下さい。

夏の学校をご支援下さった、国立天文台、諸先生方に、この場をお借りして御礼申し上げます。

なお、次回の夏の学校は、東京大学理学部天文学教室が担当します。(上村左知子、石田俊人)

天文・天体物理若手夏の学校

若手研究者の研究交流を目的とした夏の学校も今回で20回目を迎えました。今年の夏の学校は、全体企画「JNLTによる正しい宇宙論」をメインプログラムに据え、「銀河」、「恒星・太陽」、「相対論と宇宙論」、「観測機器」、「コンパクトオブジェクト」、「星生成」、「自己重力系」、「天文学と社会」の八つの分科会がプログラムされています。

会場: エーデルホテル

長野県小県郡真田町菅平高原

期日: 1990年7月23日(月)~7月27日(金)

全体企画では、最前線で活躍しておられる福来正孝(予定)・家正則両氏に「宇宙論概論」、「JNLT概論」の講演をしていただいた後、HSTなどのライバルとも比較しながら「JNLTでなすべき宇宙論的観測は何か」討論します。また「JNLT模擬プロポーザル」を事前に募集し、「宇宙論に限らず、JNLTでどのような観測が可能になるのか」、「そのためにはどのような観測機器が必要か」ということも探っていきます。

各分科会においては発表者自身の研究成果の発表を中心に、一人あたり30分程度の十分な発表時間をとっています。

全体企画、分科会ともに議論の土台となる資料集を準備しました。若手の会会員には各機関を通じて、サーキュラー、参加申し込み用紙、資料集などを配布していますが、会員以外の方で参加を希望される方は下記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先: 天文・天体物理若手夏の学校事務局
藤堂 泰

〒113 東京都文京区弥生 2-11-16

東京大学理学部天文学教室

TEL 93-812-2111 内線 4268

FAX 03-813-9439

国立天文台電波天文学分野研究員公募

標記の研究員に欠員が生じたので公募します。

研究分野：電波天文学及び関連分野

募集人員：1 名

任 期：1992 年 3 月まで（1 年の延長を認めることがあります）

着任時期：1990 年 9 月以降でなるべく早い時期

待 遇：教務補佐員としての給与を支給（詳細は下記にお問い合わせ下さい）

研究場所：原則として野辺山

応募資格：大学院修士課程修了またはそれと同等以上

提出書類：履歴書，研究計画，論文リスト（共著である場合はその役割分担）および主要論文の別刷，希望の研究場所が野辺山でない場合はその理由書（封筒に「研究員応募書類」と朱記すること）

提出期限：1990 年 7 月 23 日（月）必着

書類宛先及び問い合わせ先：

〒384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台野辺山宇宙電波観測所 森本雅樹

TEL. 0267-63-4300（事務室）

京都大学物理学第二教室助教授公募

募集人員：助教授 1 名

専門分野：天体核物理

着任時期：決定後出来るだけ早い時期

提出書類：履歴書，研究歴，業績リスト，主要論文別刷り，研究計画，他薦の場合にも推薦書の他に前記書類のあることが望ましい

公募締切：1990 年 9 月 30 日

提 出 先：〒606 京都市左京区北白川

京都大学理学部物理学第二教室主任

玉垣良三

問合せ先：同教室 佐藤文隆 電話 075-753-3831

そ の 他：封筒に「公募書類在中」と朱書き，書留で送付のこと。

◇ 7 月 の 天 文 暦 ◇

日	時	分	記	事
3	2	21	水 星	外合
4	0	47	月	最遠
4	14	04	地 球	遠日点通過
5	20	27	海王星	衝
8	10	23	望	
15	2	44	土 星	衝
15	14	32	木 星	合
15	20	04	下 弦	
19	20	17	月	最近
22	11	54	朔	
29	23	01	上 弦	
31	11	22	冥王星	留
31	17	19	月	最遠

1990 年 4 月の太陽黒点 (g, f) (国立天文台)

1	8,	64	11	9,	55	21	—,	—
2	10,	92	12	8,	64	22	—,	—
3	12,	99	13	—,	—	23	23,	272
4	—,	—	14	—,	—	24	22,	222
5	12,	92	15	—,	—	25	21,	153
6	11,	103	16	—,	—	26	15,	116
7	10,	93	17	—,	—	27	20,	193
8	—,	—	18	18,	225	28	17,	234
9	7,	78	19	17,	240	29	6,	41
10	10,	55	20	—,	—	30	11,	48

(相対数月平均値：156.3)

◇ 7 月 の 日 月 惑 星 運 行 図 ◇

